障害者福祉情報

131号 2012年7月

編集・発行
社会福祉法人　福岡県社会福祉協議会
〒816-0804　春日市原町３丁目１番地７
クローバープラザ
TEL 092-584-3330　FAX 092-584-3319
http://www.cloverplaza.or.jp/shakyou/sho/sho_index.htm

盲ろう者とのコミュニケーション

皆さんは、目と耳の両方が不自由な方（盲ろう者）の暮らしについてご存知ですか。

平成18年に厚生労働省が行った身体障害者実態調査に基づき、社会福祉法人全国盲ろう者協会が推計したところ、平成20年12月末現在、福岡県には、約800人の盲ろう者の方がいるとされました。

盲ろう者は、見えない（見えにくい）、聴こえない（聴こえにくい）ために、情報入手・コミュニケーション・移動など、様々な場面で困難が生じます。

周りの状況を説明したり、介助する人が必要ですが、まだまだ少ないのが現状です。

今号では、「盲ろう」という障害に応じた支援について紹介します。

「盲ろう者」ってどんな人？

見え方や聞こえ方の程度により、大きく４つのタイプに分けられます。

「全盲ろう」…　全く見えなくて、全く聞こえない人
「全盲難聴」…　全く見えなくて、少し聞こえる人
「弱視ろう」…　少し見えて、全く聞こえない人
「弱視難聴」…　少し見えて、少し聞こえる人

盲ろうになるまでの経緯も様々です。生まれつき目と耳の両方に障害のある人（先天的盲ろう）、はじめに目に障害があり、後で耳も悪くなった人（盲ベースの盲ろう）、はじめは耳に障害があり、後で目も悪くなった人、（ろうベースの盲ろう）、かなり短い間に目と耳が同時に悪くなった人（成人期盲ろう）、進行性の疾病などから徐々に視覚と聴覚を失っていった人など様々なタイプがあります。

もくじ／通巻131号

・盲ろう者とのコミュニケーション …… 1～3
・聴覚に障害がある方の自動車運転に関するお知らせ …… 4
・「まごころ製品」巡回型アンテナショップ　オープン …… 5
・お知らせほか …… 6～7
・ほんだな …… 8

盲ろう者の方は、普段どのように暮らしているのでしょうか。

ある女性の暮らしを紹介します。

全盲ろう者Tさん（40代・女性）の暮らし

Tさんは、ろうベースの全盲ろう者です。先天性のろう者です。

小学部から高等部まで聾学校に通い、口話を中心に学びました。

高等部の時に、病院で網膜色素変性症（だんだん視野が狭くなる病気）であることがわかり、点字も学び始めました。

高等部を卒業後、太宰府市の福岡光明寮（現在の福岡光明園）であん摩・マッサージを学びました。

授業の内容は、母親がノートにメモをとり、自宅に帰って手書き文字で伝えるという、二人三脚の方法で勉強しました。

母親の献身的な支えで、国家試験を見事合格し、資格を取ることが出来ました。

その後就職、結婚し、現在は、娘と2人で暮らしています。母親はすぐ隣に住んでおり、今でも生活全般をサポートしています。

Tさんと家族は、手書き文字で会話をします。

Tさんは料理、洗濯、掃除といった家事全般を全て自分の力でこなしています。

買い物や病院などは、母親の助けをかりて外出し、医師や看護師の説明などを、母親が手書き文字で伝えています。

また、盲ろう者友の会の活動に出かける時など、通訳・介助員派遣事業を利用して触手話等の通訳・介助を受けることもあります。

Tさんは、ブリスタ（速記用点字タイプライター）による通訳が一番わかりやすく、ブリスタ通訳を望んでいますが、手話ベースの通訳・介助員が多いため、ブリスタをできる人がもっと増えて欲しいと願っています。

また、「今は母親が支えてくれているが、もし母親がいなくなったら？火事などの時に誰もいなかったら？」という不安もあります。

現在、盲ろう者同士が交流する機会が少ないので、交流の場をもっと増やし、つながりをつくっていけたらと話されました。

ブリスタ
（速記用点字タイプライター）

盲ろう者とのコミュニケーション

盲ろう者とコミュニケーションをとる方法には、触手話(注1)、点字、指点字(注2)、パソコン、音声、手書き文字、筆談といった様々な方法があります。

人それぞれ、見え方や聞こえ方が違いますので、その人の障害の程度や希望にあわせた方法を用いてコミュニケーションをとります。

手話や点字は専門の知識が必要ですが、手書き文字は、誰でも簡単にでき、ほとんどの盲ろう者に通じる方法です。

もし皆さんが、何か不安そうな顔をしたり、きょろきょろしている盲ろう者に出会ったら、まずは、本人の正面まで来て肩か腕を軽くたたいて声をかけてください。

話をする時は、短く、わかりやすく、ゆっくり話してください。

もし通じない場合は、手のひらに文字を書いて伝えましょう。

（注1）「触手話」
盲ろう者が相手の手話を触って読み取る方法

（注2）「指点字」
盲ろう者の指を点字タイプライターのキーに見立て、直接指に点字を打つ方法

手のひら書きをする時は、正しい書き順でゆっくりと大きめに書きましょう。

通訳・介助員の派遣について

盲ろう者のコミュニケーション及び移動等の支援を行う通訳・介助員派遣事業の福岡県における状況は、福岡県が県身体障害者福祉協会へ委託、北九州市が市身体障害者福祉協会に委託し実施しています。（北九州市は、市内在住の方への派遣となります。）

昨年10月から、重度の視覚障害者（児）に対する同行援護が施行されましたが、盲ろう者に対するコミュニケーション支援は、触手話や指点字など視覚障害者（児）への支援方法とは異なるため、都道府県地域生活支援事業として引き続き実施されています。

平成24年4月1日現在、県身体障害者福祉協会の派遣事業に登録している盲ろう者は22人であり、通訳・介助員は、55人が登録し活動しています。

通訳・介助員の中には、登録をしても、仕事や家事などで時間に制限があり、活動するのが難しい人も少なくありません。

盲ろう者は、少なくとも病院・買い物等の外出の際には通訳・介助員が必要であり、今後も人材の育成・確保が必要となっています。

同協会では、県内在住の方を対象に、養成事業も併せて実施しています。今年度事業については、現在受講生を募集中です。

また、今年度から、派遣事業に登録した通訳・介助員に対し、スキルアップのための学習会を始めました。

学習会では、当事者を講師に招き、普段の活動の中で疑問に思うことについて皆で話し合い、技術の向上を図ることとしています。

〔問い合わせ先〕

福岡県身体障害者福祉協会
TEL　092-584-6067
FAX　092-584-6070
北九州市身体障害者福祉協会
TEL　093-645-1216
FAX　093-645-1601

当事者同士のつながりを

目と耳に障害を負うことにより、強い不安や孤独を感じている人も少なくありません。

本県には、福岡盲ろう者友の会があり、交流会を定期的に開催しています。

皆さんの周りに盲ろうになった方がいたらお声かけください。

〔連絡先〕

福岡盲ろう者友の会
事務局　城後　直子
FAX　092-847-0807

◆◆◆

盲ろう者通訳・介助員養成講習会受講生募集

〔主な講習内容〕

・盲ろう者ガイダンス
・コミュニケーションの基礎（実習も含む）
・通訳介助の基本等
・移動介助の実習
※カリキュラムは、協会ホームページを参照ください。

〔対象者〕

①手話・点字・朗読・ガイドヘルパー等のボランティア経験のある人
②受講終了後、盲ろう者通訳・介助員として登録し、活動ができる人

〔開催日〕

8月25日（土）、9月1日（土）・9日（日）・16日（日）・22日（土）・29日（土）
※全て受講することが必要です

〔場所〕

クローバープラザ内研修室（春日市原町3-1-7）

〔募集人数〕

40人（定員になり次第締め切り）

〔受講料〕

無料

〔申込方法〕

左記事務局へ電話又はFAXで申し込み

〔申し込み・問い合わせ先〕

福岡県身体障害者福祉協会
福岡県盲ろう者通訳・介助員派遣事業担当（友池）
TEL　092-584-6067
FAX　092-584-6070
メールアドレス
fukuoka-db@chorus.ocn.ne.jp

聴覚障害者が取得できる運転免許の範囲が広がりました

聴覚に障害がある方（補聴器を使用しても10メートルの距離で、90デシベルの警音器の音が聞こえない方）は、平成24年４月１日から、以下の運転免許も取得できるようになりました。

運転できる自動車などの種類

自動車などの種類		運転に必要な免許	H24.3.31まで	H24.4.1から
普通自動車	乗用車	普通免許	●※	●※
	貨物車		×	●※
原動機付自転車		普通免許、大型二輪免許、普通二輪免許又は原付免許	×	●
小型特殊自動車		普通免許、大型二輪免許、普通二輪免許又は小型特殊免許	×	●
大型自動二輪車		大型二輪免許	×	●
普通自動二輪車		大型二輪免許又は普通二輪免許	×	●

※特定後写鏡（ワイドミラー又は補助ミラー）を取り付けることと聴覚障害者標識を表示することが条件となります。

（原動機付自転車、小型特殊自動車、大型自動二輪車、普通自動二輪車を運転される方は、バックミラーのほか、死角を自分の目で確認しましょう。）

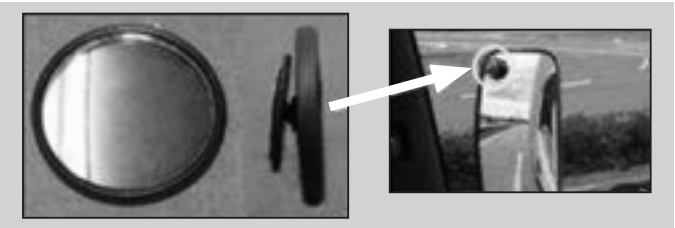
特定後写鏡（ワイドミラー又は補助ミラー）の取り付け

補助ミラーは、普通貨物自動車などの後ろが見えない普通自動車を運転する時に活用します。

運転席側の補助ミラーは、内向きに角度を付け、自分の車の真後ろの視界を確保します。

また、運転席と反対側の補助ミラーは、外向きに角度を付け、運転席と反対側の斜め後方の視界を広げましょう。

乗用車に取り付けるワイドミラー（例）



貨物車に取り付ける補助ミラー（例）

聴覚障害者標識の表示

普通自動車を運転する時は、前と後ろの定められた位置に聴覚障害者標識を付けることが必要です。

※原動機付自転車、小型特殊自動車、大型自動二輪車、普通自動二輪車を運転するときは必要ありません。

【問い合わせ先】
福岡自動車運転免許試験場　TEL 092-565-5010　北九州自動車運転免許試験場　TEL 093-961-4804
筑豊自動車運転免許試験場　TEL 0948-82-0160　筑後自動車運転免許試験場　TEL 0942-53-5208
※FAXによるお問い合わせは、092-566-2737へ（FAXの場合、回答までに日数を要します。）

「まごころ製品」巡回型アンテナショップ　オープン！
～障害者施設が手づくりの製品を販売　県内大型商業施設等を巡回～

福岡県では、５月８日、筑紫野市のイオンモール筑紫野で「まごころ製品」巡回型アンテナショップを開催しました。

当日は、５つの障害者施設が参加。芋焼酎「自立」をはじめ、焼き菓子、パン、豆腐、縫製品、木工品など、障害者の皆さんが心を込めて一つ一つ手作りした「まごころ製品」を販売しました。

また、障害者の皆さんの取り組みを、より一層身近に感じてもらおうと、「さをり織り」の実演や、製作を体験できるコーナーが設置され、会場は多くの人でにぎわいました。

小川知事は「アンテナショップの展開を通じて、より多くの県民の皆さまにまごころ製品についてよく知っていただき、お買い求めいただきたい」とあいさつしました。

同ショップは来年３月まで、20回程度県内各地域の大型商業施設等で実施します。皆さん是非お立ち寄りください。

（次回はイオンモール福津（サウスコート）で７月20日に実施します。）

【問い合わせ先】
福岡県福祉労働部障害者福祉課
〒812-8577　福岡市博多区東公園７－７
TEL　092-643-3262　FAX　092-643-3304

（左）芋焼酎「自立」
福岡県と障害者施設が共同開発した芋焼酎。麹米、芋、水、すべて福岡県の材料で作られています。口当たりの良いフルーティーな仕上がりです。

（上）さをり織りで作ったコースター

（下）豆腐、豆腐加工品、豆乳

まごころ製品紹介

この他、各施設では、さまざまな「まごころ製品」を製造しています。詳しくは、障害者福祉課へお問い合わせください。

精神障がい・発達障がい就労支援フォーラムが開催されました

5月12日、福岡市で就労移行支援事業所のウイングル福岡ももちセンターが主催するフォーラムが開催され、同事業所の精神障害または発達障害のある利用者7名が、就職に至るまでの体験を発表しました。

一般事務で就職した精神障害のある女性は、「以前勤めていた職場を退職後、どうしていいかわからなかった時、市職員から各制度、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター（以下「センター」という。）を紹介してもらった」「ハローワークやセンターへ相談する中で、自分にあった求人かどうかを気づくようになっていった」「デイケアに通い、生活のリズムを安定させるとともに、ウイングルでパソコンの訓練を受けた。少しずつデイケアの回数を減らし、ウイングルの訓練日を増やしていった」という体験を話しました。

また、他の利用者は、「就職前は、何がやりたいか、何ができるのか、人と接することが課題だった」「就職する前も今も、生活のリズムを安定させることを心がけている」と話しました。

この他、センター野の花から、精神障害・発達障害者の就労の状況について報告がありました。

報告では「仕事が続く人は、就労継続支援A型・B型事業所でしっかり訓練を受けている。自分の特性を理解し、生活のリズムが安定している。周囲のサポートもある。」「仕事が続かない人は、病気が再発・悪化してしまった、ジョブマッチングができていない、生活のリズムが安定していない、相談できない、就労の目的が不明確である人が多い」とありました。

症状が悪化しないか不安な精神障害のある方は、職場実習、トライアル雇用、常用雇用という段階を踏み、職場と調整して自分のペースで仕事ができるようセンターで支援しているとのことです。

福岡県障害者福祉情報ハンドブック２０１２　販売中！

福岡県社協が福岡県から委託を受け、２年に１度発行しているハンドブックです。

障害者福祉制度・施策や県内各市町村における障害者福祉関係事業の実施状況のほか、社会資源名簿等を掲載しています。

購入ご希望の際は、下記申込書に必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送でお申し込みください。

障害者福祉情報ハンドブック２０１２　申込書　Ａ４判410頁・H24.３発行				
申込部数	部	×1,300円×送料（実費）がご請求金額になります。		
氏名・団体名			担当者名	
送付先	〒			
TEL		FAX		
備考				

送料：10部まで320円（九州内）、11部以上及び九州外の送料は、下記へお問い合わせください。

【申し込み・問い合わせ先】

福岡県社会福祉協議会　人材・情報課　TEL 092-584-3330　FAX 092-584-3319

〒816-0804　春日市原町3-1-7　クローバープラザ２Ｆ

お知らせ

福岡障害者職業能力開発校委託訓練生募集（知識・技能習得コース）

▼募集科目
パソコンビジネス科
ビジネス文書の基礎知識、ワード、エクセルの操作を習得します。

▼訓練期間
10月3日～12月25日

▼場所
糸島市人権センター
（糸島市前原東2-2-1）

▼定員　15名

▼受講料　無料
※ただし教材費として1万円程度必要。資格取得のための検定受験料は別途必要。

▼対象者
身体障害者、知的障害者、精神障害者
※事前に左記へお問い合わせください

▼申し込み方法
8月23日までに最寄りのハローワークへ申し込み

▼問い合わせ先
福岡障害者職業能力開発校
TEL 093-741-5431
FAX 093-741-1340
または、最寄りの公共職業安定所

精神保健福祉家族教室

▼場所
福岡県精神保健福祉センター
集団療法室　研修室
（春日市原町3-1-7南側2階）

▼対象
精神障害者のご家族

プログラム　（いずれも14時～16時開催）

	期　日	内　容	
1回	9/20（木）	家族の接し方・対応の仕方	懇談会
2回	10/18（木）	精神疾患の症状と治療について（医師講義）	懇談会
3回	11/15（木）	やさしいコミュニケーションのとり方	懇談会
4回	12月調整中	デイケア見学・地域の中にある社会資源について	懇談会

※内容・日程が変更になることがありますので、お電話でご確認ください

▼参加費　無料（要予約）
参加ご希望の方はFAX又は電話で左記へ申し込みください。

▼申し込み・問い合わせ先
福岡県精神保健福祉センター
社会復帰課
TEL 092-582-7500
FAX 092-582-7505

福岡地区障害者雇用促進面談会

▼日時　9月26日（水）
受付　12時30分～14時30分
面談　13時～16時

▼場所
福岡国際会議場
2階　多目的ホール
（福岡市博多区石城町2-1）

▼参加費　無料

▼問い合わせ先
福岡中央公共職業安定所
TEL 092-712-8609
（部門コード44#）
福岡東公共職業安定所
TEL 092-672-8609
（部門コード42#）
福岡南公共職業安定所
TEL 092-513-8609
（部門コード42#）
福岡西公共職業安定所
TEL 092-881-8609
（部門コード42#）

ほんだな

福祉情報センターでは、福祉に関する図書・ビデオの閲覧・貸出を行っています。

●利用時間　9:00～17:00
●休館日　月曜日（祝日の場合は翌日・第４月曜日は除く）
●貸出　図書・ビデオ　合計10点まで
※貸出の際は、クローバープラザ利用者カードが必要です。
※遠方の方や外出が困難な方のために配送での貸出返却も行っています。（送料実費負担）
●貸出期間　２週間以内
●お問合せ先　福祉情報センター　〒816-0804　春日市原町３丁目１番地７
☎　092-584-3330　FAX　092-584-3319

「盲ろう者として生きて　指点字によるコミュニケーションの復活と再生」

福島智　著
出版：明石書房

著者が９歳で失明し、18歳で失聴して盲ろう者となり、「視覚・聴覚の喪失とコミュニケーションの再構築」を経験した過程を多角的・重層的に記述。その過程の分析・考察を通して、「生の有りよう」の本質的な意味を探る。

「盲導犬イザベルが教えてくれたこと　－失明して見えた光」

米田明三　著
出版：北國新聞社

ベーチェット病による失明、結婚、子育て、視覚障害者３人きりの中国旅行、盲導犬イザベルとの出会いから死別まで、視力を失った著者が多くの人に支えられながら歩んだ半生を、感謝の気持ちとともに綴る。

「おやこ劇場」

今井絵理子　著
出版：祥伝社

音楽を通し、社会貢献活動を積極的に行うママ。そんな姿を見て育った礼夢も、サービス精神旺盛な男の子に成長！ 元ＳＰＥＥＤの今井絵理子が、先天性聴覚障がいを持つ息子・礼夢との日常を、漫画とエッセイで綴る。

「とっさの手話入門　お店で、駅で、病院で」

小椋英子　監修・NHK出版　編
出版：NHK出版

ショップやホテル、交通機関、病院・診療所、緊急時など、社会のいろいろな場面での会話を想定し、とっさのときに役立つ手話を連続写真で解説。基本の会話、数やアルファベットの表現、手話ソングも紹介する。